

ボルトメイト エポ EP-400J/1500J JAIA F☆☆☆☆ 土木・建築用エポキシ樹脂



■特長

- ・耐食性変性エポキシ樹脂の採用によりコンクリートへの接着強度、耐アルカリ性、耐震性に優れています。
- ・横向き／上向き施工にも対応できるエポキシ樹脂です。
- ・揮発性の溶剤を含まないため、硬化後の収縮は殆どなく肉やせがありません。
- ・刺激臭を極力抑えているため、作業環境を悪化させません。
- ・JWWA Z 108に基づく浸出試験を行い、水道用資機材の基準に合格しています。
- ・「優良住宅部品認定基準 墜落防止手すりに使用する改修用アンカー」に関し、ベターリビングによるデータを取得しています。

■可使時間と硬化時間

項目	5℃	10℃	20℃	30℃	35℃
可使時間	30分	20分	9分	4分	2分
硬化時間	48時間	15時間	7時間	5時間	3時間

※可使時間は、雰囲気、母材、樹脂、アンカー筋の中で最も高い温度、硬化時間は最も低い温度を目安にしてください。

※硬化時間内はアンカー筋に触れないでください。

※可使時間：樹脂量50gでの温度上昇法による試験値。

■アンカー仕様

使用例（汎用）

使用異形棒鋼・ボルト呼び径	穿孔条件 径×深さ [mm]	必要樹脂量 [m ²]	許容引張荷重 ^(注1) [kN]		アンカー筋降伏荷重 [kN]	
			長期	短期	As×235N/mm ² ×10 ⁻³	As×345N/mm ² ×10 ⁻³
D10	13×90	6.6	15.6	23.4	—	24.6
D13	16×100	8.9	19.5	29.3	—	43.7
D16	20×130	18.0	32.8	49.2	—	68.5
D19	24×190	37.8	68.49	102.73	—	98.8
D22	28×220	60.4	91.9	137.85	—	133.5
D25	32×250	89.3	117.75	176.63	—	174.8
M8	10×80	4.0	7.15	10.73	8.6	—
M10	12×90	6.0	15.4	23.19	13.6	—
M12	14×100	8.4	19.2	28.8	19.8	—
M16	18×130	15.2	32.41	48.61	36.9	—
M20	23×200	40.9	75.0	112.69	57.5	—
M22	26×220	60.2	91.16	136.74	71.2	—
M24	28×240	75.5	108.34	162.51	82.9	—
M27	34×270	146.0	126.14	189.21	107.8	—
M30	38×300	206.0	140.13	210.2	131.8	—

使用例（土木：15d）

使用異形棒鋼・ボルト呼び径	穿孔条件 径×深さ [mm]	必要樹脂量 [m ²]	アンカー筋の許容引張荷重 ^(注1) [kN]		アンカー筋降伏荷重 [kN]	
			As×140N/mm ² ×10 ⁻³	As×200N/mm ² ×10 ⁻³	As×235N/mm ² ×10 ⁻³	As×345N/mm ² ×10 ⁻³
D10	20×150	43.7	—	14.3	—	21.0
D13	23×195	67.6	—	25.3	—	43.7
D16	26×240	96.0	—	39.7	—	68.5
D19	30×285	144.0	—	57.3	—	98.8
D22	32×330	165.0	—	77.4	—	133.5
D25	35×375	205.0	—	101.3	—	174.8
D29	40×435	321.0	—	128.4	—	221.6
D32	42×480	341.0	—	158.8	—	273.9
D35	45×525	399.0	—	191.3	—	330.0
D38	48×570	458.0	—	228.0	—	393.3
D41	52×615	578.0	—	268.0	—	462.3
D51	62×765	911.0	—	405.4	—	699.3
M10	20×150	46.1	8.1	—	13.6	—
M12	22×180	63.9	11.8	—	19.8	—
M16	26×240	108.0	21.9	—	36.8	—
M20	30×300	166.0	34.3	—	57.5	—
M22	32×330	199.0	42.4	—	71.2	—
M24	34×360	240.0	49.4	—	82.9	—
M27	38×405	328.0	64.2	—	107.8	—
M30	40×450	376.0	78.5	—	131.8	—
M33	44×495	491.0	97.1	—	163.0	—
M36	46×540	548.0	114.3	—	191.9	—
M39	50×585	693.0	136.6	—	229.3	—
M42	52×630	759.0	156.8	—	263.2	—
M45	56×675	938.0	182.7	—	306.6	—
M48	58×720	1011.0	206.0	—	345.9	—
M52	62×780	1181.0	245.9	—	412.8	—
M56	66×840	1403.0	284.0	—	476.8	—

注1：許容引張荷重は上記穿孔条件におけるFc=21N/mm²の場合のコンクリート破壊により決まる算定値です。

注2：許容引張強さは（公社）日本道路協会 道路橋示方書の許容応力度を適用した場合のアンカー筋の算定値です。

◇降伏強さは異形棒鋼はSD345（D10のみSD295A）、ボルトはSS440の場合を参考として記載しています。

◇必要樹脂量はロス率20%での計算値です。

■用途

- あと施工アンカー全般
- 定着アンカー
- 差筋アンカー（L型、J型、U型）
- 機械据え付け用アンカー
- 機械基礎アンカー
- 手摺・フェンス支持
- 点字鋏・プレート